

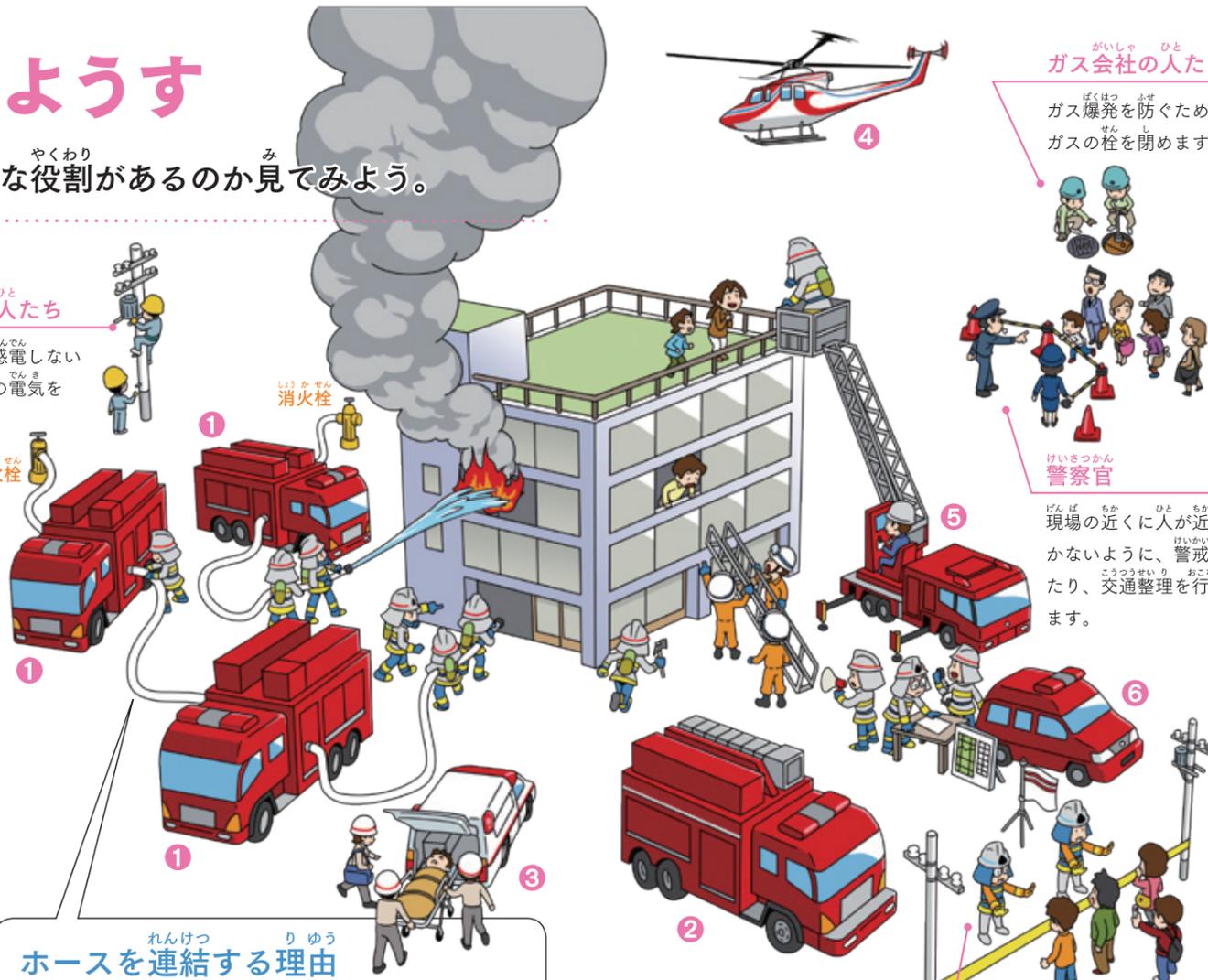


# 4. 火災現場のようす

それぞれの隊員には、どのような役割があるのか見てみよう。

市内には、さまざまな火災や事故にも対応できるように、約200台の消防車とヘリコプターがあります。

**電力会社の人たち**  
電線が切れて感電しないように、近くの電気を止めます。



## ホースを連結する理由

一番先に到着した水槽車は、火が出ている場所の近くに車を止め、水槽の水を使って消火します。後から来た車は、一番先についた水槽車の水がなくならないように消火栓などから水を吸い上げて送ります。



### 1 水槽車

車からホースをのびせて消火します。ホースは水の勢いで大きく揺れるため、二人で持って消火します。



### 2 救助車

いろいろな道具を使って、逃げ遅れた人や動けなくなった人を助け出し、安全に避難させます。



### 3 救急車

火災でケガをしたり、急に具合が悪くなった人に手当てをしながら、いち早く病院へ運びます。



### 4 ヘリコプター

空から山火事などを消火したり、ビルの屋上から逃げ遅れた人を助けたり、ケガをした人を運びます。



### 5 はしご車

高い建物の火災を消したり、人を助けます。また、ホースをつないで水を出すこともできます。



### 6 指揮車

通報者や建物の持ち主から、逃げ遅れた人がいないかなど必要な情報を集め、活動している消防隊にさまざまな命令を出します。



### 火災調査車

火災の原因や被害の状況などを調査するため、カメラなどいろいろな道具が入っています。



### ガス会社の人たち

ガス爆発を防ぐため、ガスの栓を閉めます。



### 警察官

現場の近くに人が近づかないように、警戒したり、交通整理を行います。

### 消防団員

消防隊と協力して迅速な消火活動などを行います。



### 大型ポンプ車

最大50mの落差のある水源から送水する油圧式水中ポンプと高出力エンジンを搭載した送水車です。



### ホース延長車

約2,000mの遠距離へ送水する直径150mmの大口径ホースを、走りながら延長したり回収したりすることができます。



### 水槽救助車

水槽車と救助車の能力を持ち、火を消したり、人を助け出したりする道具をつんでいます。

## その他の消防車



### 化学水槽車

水では消せない油からの火災を、薬の入った泡を出して消火します。



### 支援工作車

大きなtentや消火薬剤など災害に合わせた、たくさんの種類の道具が入っています。



### 山岳救助車

登山中などにケガや、急に具合が悪くなった人を助けるための道具が入っています。山道など狭い道も走ることができます。



### 支援車

大きな災害の時、食事や休憩をとるなど隊員の消防活動を支援します。



### 重機

大規模災害発生時に道路上の障害物や壊れた家のがれきなどを取り除く作業を行います。



### 燃料補給車

大規模災害発生時に消防部隊が長い時間活動を行うことができるよう、災害現場において消防車両の燃料(軽油)を補給します。



### 大型ブローカー

火災の煙や熱気、有毒ガスなどの排出を行うための大型の送風機(ブローカー)を装備した車両です。ブローカーは、水を噴霧し消火なども行えます。

**消防車はどうして赤い？**

消防車の色は赤く見えますが、実は赤色(黄色みを帯びた赤色)です。日本の消防車は法律で朱色にすると決まっています。朱色には火のイメージがあり、道路を走っていてもよく目立つため、朱色になっています。